

～甘楽町の将来を担う中学生～

第32回 少年の主張 甘楽町大会

第32回少年の主張甘楽町大会が6月29日、町文化会館で行われました。甘楽中学校の代表生徒11人は、家庭や学校生活・社会の中での体験や心に感じていることを発表。自分の考えや希望をしっかりと話す姿に、会場から大きな拍手が送られました。審査の結果、最優秀賞には井上美咲さん(3年)が選ばれました。井上さんは8月4日に安中市松井田文化会館で行われる西部地区大会に甘楽町代表として出場します。

最優秀賞

醤油

甘楽中3年

井上美咲

突然ですがみなさん「醤油」は好きですか。また、「醤油」に対してどんなイメージを持っていますか。

私は、中学生になってから自分を失ってしまった、そんな時期がありました。何をすれば良いのか分からない、生きている理由が見つからないなど、マイナスなことばかり考え、毎日、自分とは何なのか、答えを探しながら過ごしていました。しかし、そんな時、母が私に言ったのです。



「あなたは醤油になりなさい。」と。みなさんも今、疑問に思ったのではないだろうか。私

もそうでした。母が私をバカにしたのかと思い、その時は頭にきて大きな声で怒鳴って逃げてしまいました。「恥ずかしい。母までが私のことを笑うのか。」部屋に閉じこもりました。少し時間が過ぎた時、ドアがノックされました。母です。私は無視をし、母がいなくなるのを待とうと思っていました。しかし、母は部屋の外から、こんなことを語ってくれました。

「醤油っていつのは、長い間悩んで悩んで、生み出された、素晴らしいものだよ。醤油は、日本さらに海外、どんな地でも愛されるもの。そして、どんな料理に入れても、醤油は醤油らしく味を残すことができる。だから――。」

そんな深い意味があり、母は言うてくれたのか、となぜだか分からないけれど涙が止まらなくなりました。さうに母が

「だからあなたも自分をつくるために、たくさん悩みなさい。そしていつか醤油になって、どんな土地でも馴染め、愛される人になりなさい。自分らしく生きて、自分の味をたくさん出してください。そして私はあなたの味

方だから。」そんな言葉を聞いた私は、心の中にあつた、モヤモヤとしたものがすっとなくなつたような気がしました。迷っていた自分がつたつたかのように、私はたくさんの方にチャレンジするようになり、進んで学級四役、生徒会本部役員へ立候補しました。また、イタリア、中国への海外派遣研修団へも参加させていただきました。くじけそうなる時もありましたが、そんな時は、母が言うてくれた言葉を思い出し、自分自身を励ました。

これらの体験を通して私は、「チャレンジ」することは怖くない、悩みに悩めば良いのだと前向きに考えることができるようになりました。人前で黙ってしまう性格だった私が、堂々と自分の意見を発言できるようになれたのです。自分のことが嫌いだった私

が、自分のことを信じていることができたのです。思い切つてやってみるのも悪くないのかもかもしれません。思い切つた決断が私を変えてくれたのです。

そして、海外派遣研修団で学べたもう一つのこと。それは、イタリアでも、中国でも、国境を越えて、醤油はその地に馴染み、愛

された。私自身はふと思いました。自分自身への答えなどないのではないか。生きている理由など、深く考えなくともいいのでは。」私の好きな歌の歌詞にこんな言葉があります。「目の前をさいでいるのは壁じゃなくて扉なんだ。」自分が迷った時、目の前にあるものは大きな壁ではなく、扉なのです。前に進めそうになかったら、悩んで悩んで、扉の開け方を自分なりに考えてみるの

優秀賞10人

右から発表順(敬称略)

 「全力」って何だろう? 大須賀 翔英 (3年)	 コンピュータに負けない社会へ 飯塚 雪未 (1年)	 目指すことの大切さ 堀口 花道 (3年)	 仲間は宝物 今井 彩香 (2年)	 大切な曲 山田 千聖 (3年)
 思いやりとは 大類 瑞季 (2年)	 兄として 茂原 佑陽 (1年)	 心のよりどころ 杉山 直輝 (3年)	 僕たちにできる社会貢献とは 田中 吹樹 (2年)	 「失敗」と「挑戦」 大類 百華 (3年)

息の合った演奏を堂々と披露



アトラクションで演奏を披露した甘楽中吹奏楽部

◎審査員講評(近藤教育長)

今回の発表は学校生活における友だちや先生、家族や地域の人たちとのかわりの中で、自分の生き方について考え、他人を思い、社会を考え、前向きに自分のこれからを切り開いていこうという代表にふさわしいものばかりでした。自分の思いを堂々と発表する姿に聞いている人は皆感動しました。普段頭の中で考えていることはたくさんありますが、それをまとめ文章にし、人の前で発表する。このような経験は、自分の考えを深め、それぞれが自分を成長させていくために大きな力になると思います。

最優秀賞インタビュー

「中学校に入学し、悩んでいるときに母がくれたアドバイスをもとに書きました。それからは醤油になることを意識して生活してきました。聞いている人たちに共感してもらえるよう、皆の支えになるような発表ができるよう心掛けました。西部地区大会では甘楽中生の代表として頑張ってきます」